

巻末資料 2. [福岡県久留米市] ケアマネジャー等への防災研修資料

「防災」と「福祉」の連携による高齢者の避難行動に対する
理解促進のための研修会

日時：令和2年2月18日(火)
19時00分から20時50分
場所：えーるピア久留米視聴覚ホール
福岡県久留米市諏訪町1830-6

次第

講義(19:00~20:45)

(1) 地域の水害リスク(19:00~19:30)

筑後川河川事務所 地域防災調整官 坂本 誠吾

(2) 段階的に発表される防災気象情報(19:30~20:00)

福岡管区气象台気象防災部予報課 防災係長 藤田 健治

(3) 久留米市ハザードマップに関する市の取組(20:00~20:15)

久留米市総務部防災対策課 事務主査 池尻 正明

(4) 避難行動要支援者名簿に関する市の取組(20:15~20:45)

久留米市健康福祉部地域福祉課 事務主査 植松 徹也

質疑(20:45~20:50)

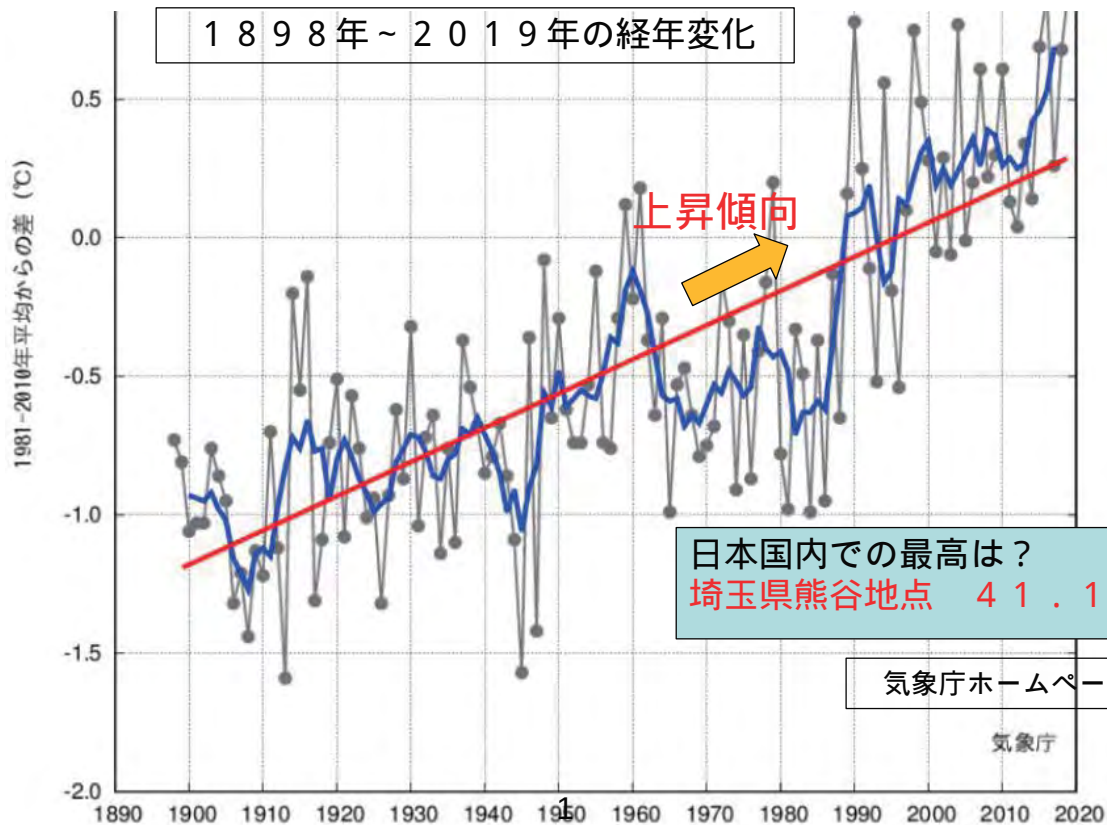
大規模水災害の脅威

「その時あなたの行動は？」



日本の年平均気温偏差（経年変化）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development
筑後川河川事務所



全国の降水量発生回数（経年変化）

気象庁ホームページより

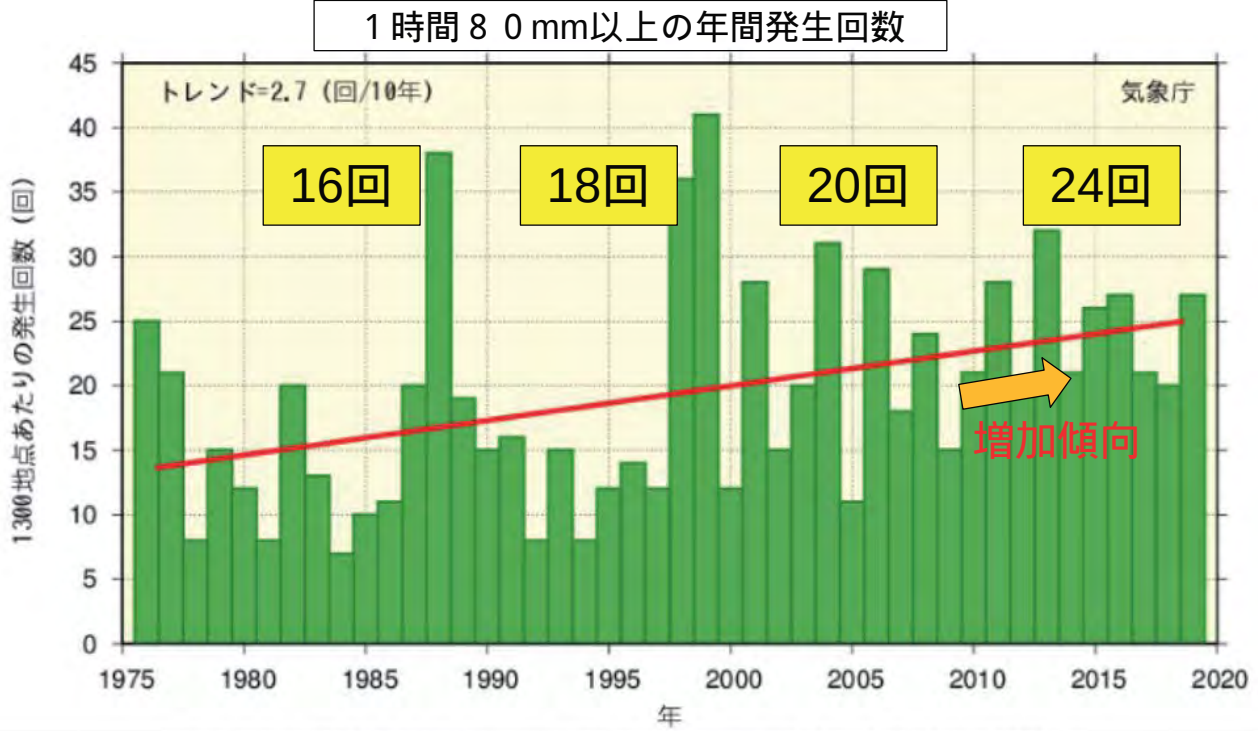


図 全国の1時間降水量80mm以上の年間発生回数の経年変化(1976~2019年)

2

筑後川・矢部川流域内の最近の災害



3

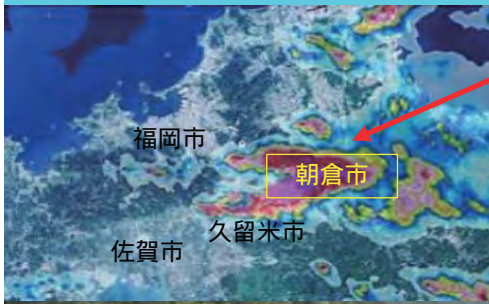
平成24年 九州北部豪雨（矢部川）



平成29年 九州北部豪雨①（日田市花月川）



平成29年 九州北部豪雨②（朝倉市赤谷川）



線状降水帯による集中豪雨



20170707uav03

平成30年7月 豪雨（久留米市）

久留米市及び鳥栖市を近辺に、1日の降雨量が観測史上最大に。特徴として長く降り続いたことによる。



- 死者数：147名
- 被災者数：約54万人
- 床上浸水：約49,200戸
- 床下浸水：約46,300戸



水没した久留米市街地



堤防からの越流（久留米市）



流出する小森野橋

和元年10月「台風19号」の 堤防決壊動画

10

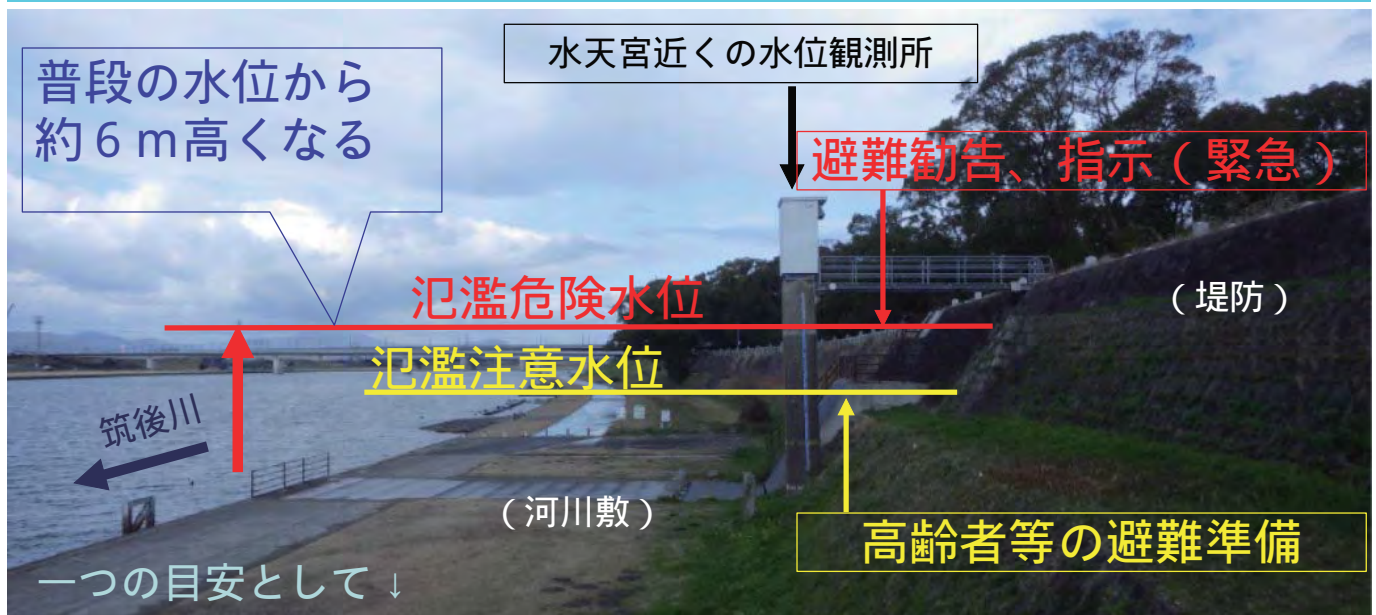
水災害（洪水）で命に関わる最大のリスクは？



特に、堤防付近に住まれている方は自治体の情報に注意
して、早めに避難することが大切です。

11

筑後川の堤防は決壊する？



- ① 「**氾濫危険水位**」程度の高い水位が長く続いている場合は、堤防を保つ安全度が低くなってきます。
- ② 最近の雨の降り方を考えれば、**堤防からの洪水氾濫**は十分に起こりえると考えておいた方がいいでしょう。

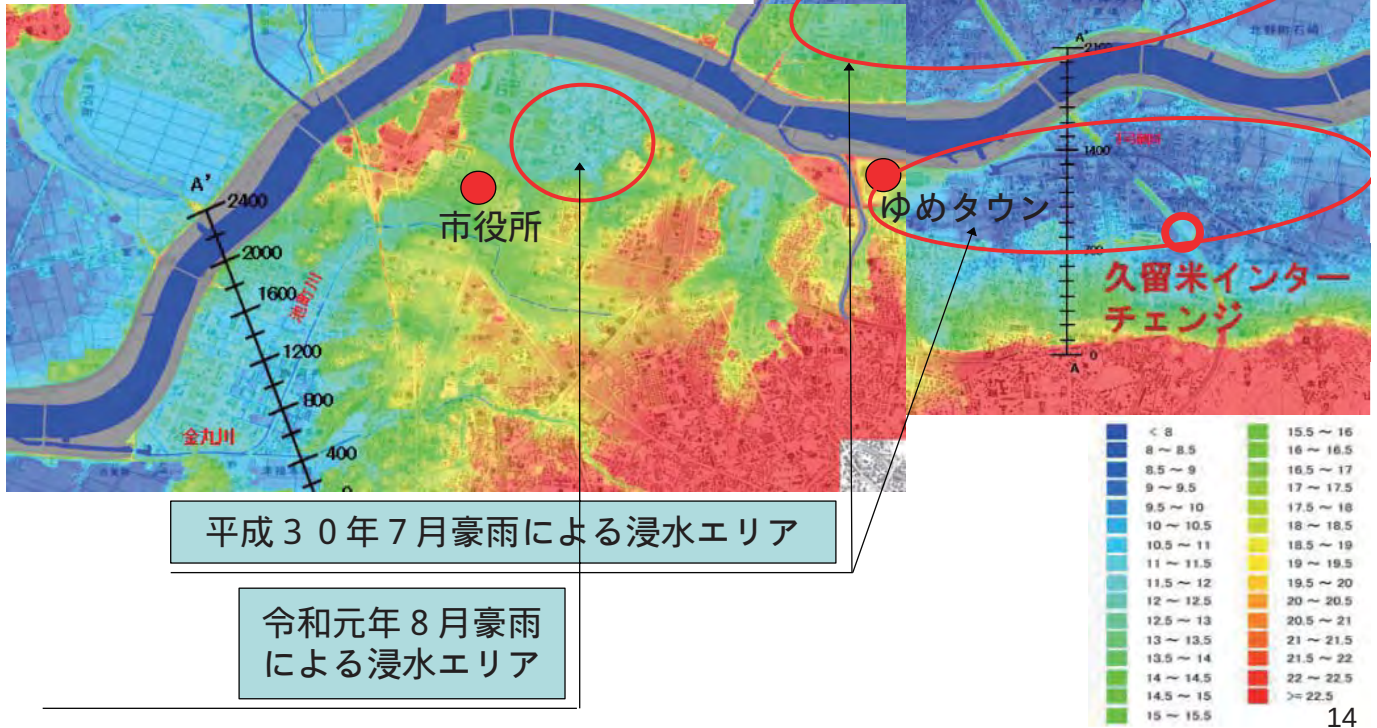
浸水想定区域図について

万が一、堤防が決壊したら・・・



久留米市の地形状況（参考）

想定以上の雨が降ると、地盤の高さ（標高）が低いところから浸水が始まる。



大規模氾濫減災対策協議会について

■目的と取組

「現在の施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生する」との前提で、河川管理者（国、県）・市町村などが連携・協力して、少しでも減災に繋げることを目的とし、平成28年度設立。

度重なる豪雨災害からの「教訓」と「防災意識」の向上に向けて

自助・共助による避難

安全な場所への早期避難

危険な場所 危険な時を知る

どう行動するか考えてみる

『逃げ遅れ“ゼロ”を目指すため、地域住民一人一人が防災意識を高めて行動に移すことが重要』

防災・減災の取組（ハード対策①）



河川内の土砂を撤去し、少しでも洪水が流れやすいようにしました。



防災・減災の取組（ハード対策②）



河川内の樹木群を撤去し、洪水の流れやすさと水門・排水機場の機能に支障を来さないようにしました。





ご静聴ありがとうございました。



「防災」と「福祉」の連携による
高齢者の避難行動に対する理解促進のための研修会

段階的に発表される防災気象情報

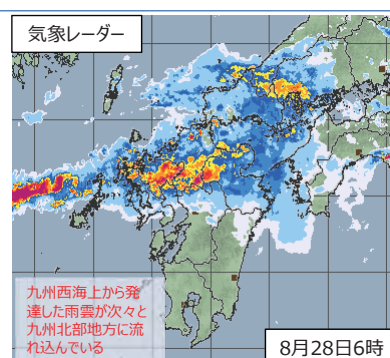
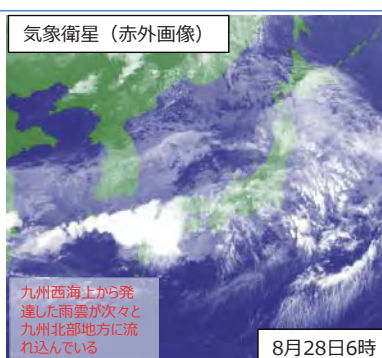
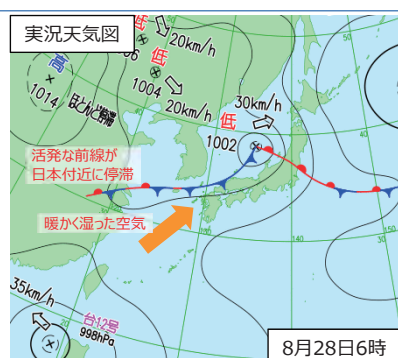
令和2年2月18日
福岡管区気象台
気象防災部予報課
藤田健治 1

近年、災害を伴う大雨が増加傾向

昨年の豪雨

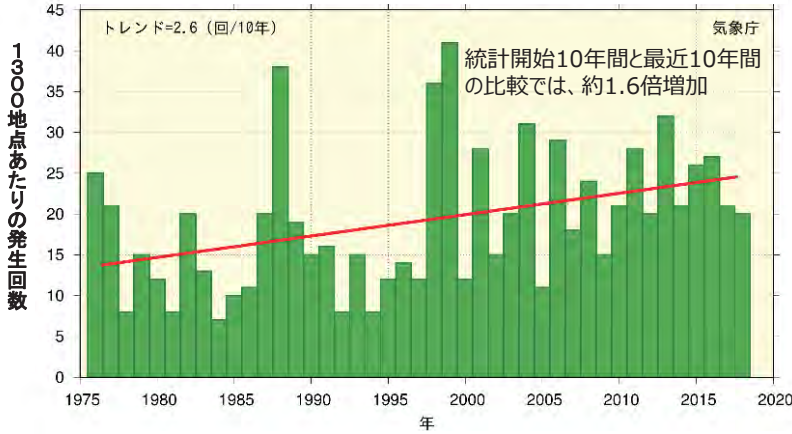
- 8月下旬から前線が日本付近に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、8月27日頃から活動が非常に活発となった。
- 前線に沿って発達した雨雲が東シナ海から九州北部地方に次々と流れ込んだため、**佐賀県、福岡県、長崎県を中心に猛烈な雨**が降り、26日から29日までの総降水量は長崎県平戸市平戸で626.5ミリ、佐賀県唐津市唐津で533.0ミリに達するなど**8月の月降水量平常値の2倍を超える大雨**となった。特に、28日明け方には線状降水帯が形成され停滞し、3時間降水量などの観測記録を更新するような大雨となった。
- このため、**28日5時50分に佐賀県、福岡県、長崎県に大雨特別警報を発表**した。
- この大雨の影響で、河川の氾濫、浸水害、土砂災害が発生し、人的被害や住家被害が発生した。また、停電や断水等ライフラインに被害が発生したほか、鉄道や航空機の運休等の交通障害が発生した(被害に関する情報は令和元年9月4日内閣府とりまとめによる)。

■災害状況(被害に関する情報は令和元年9月4日14時内閣府とりまとめによる)※福岡県、佐賀県、長崎県のみ抜粋
福岡県: 死者1名、住家一部損壊1棟、床上浸水130棟、床下浸水375棟
佐賀県: 死者3名、住家全壊1棟、住家半壊2棟、住家一部損壊6棟、床上浸水1,243棟、床下浸水1,919棟
長崎県: 住家一部損壊2棟、床上浸水21棟、床下浸水67棟



近年の大雨の特徴

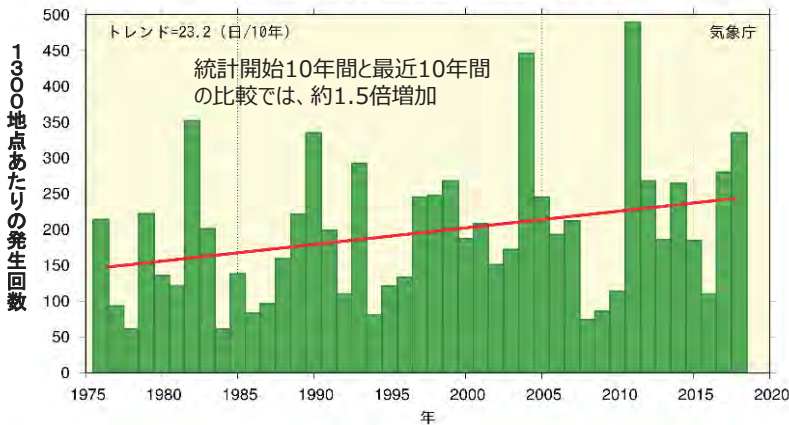
全国アメダス1時間降水量80ミリ以上の年間発生回数



- 上のグラフ：全国アメダス（1300地点あたり）の1時間降水量80ミリ以上の年間発生回数
- 下のグラフ：全国アメダス（1300地点あたり）の日降水量200ミリ以上の年間発生回数

※年によって回数にバラつきが見られるが、**全体的に増加傾向にある。**

全国アメダス日降水量200ミリ以上の年間発生回数



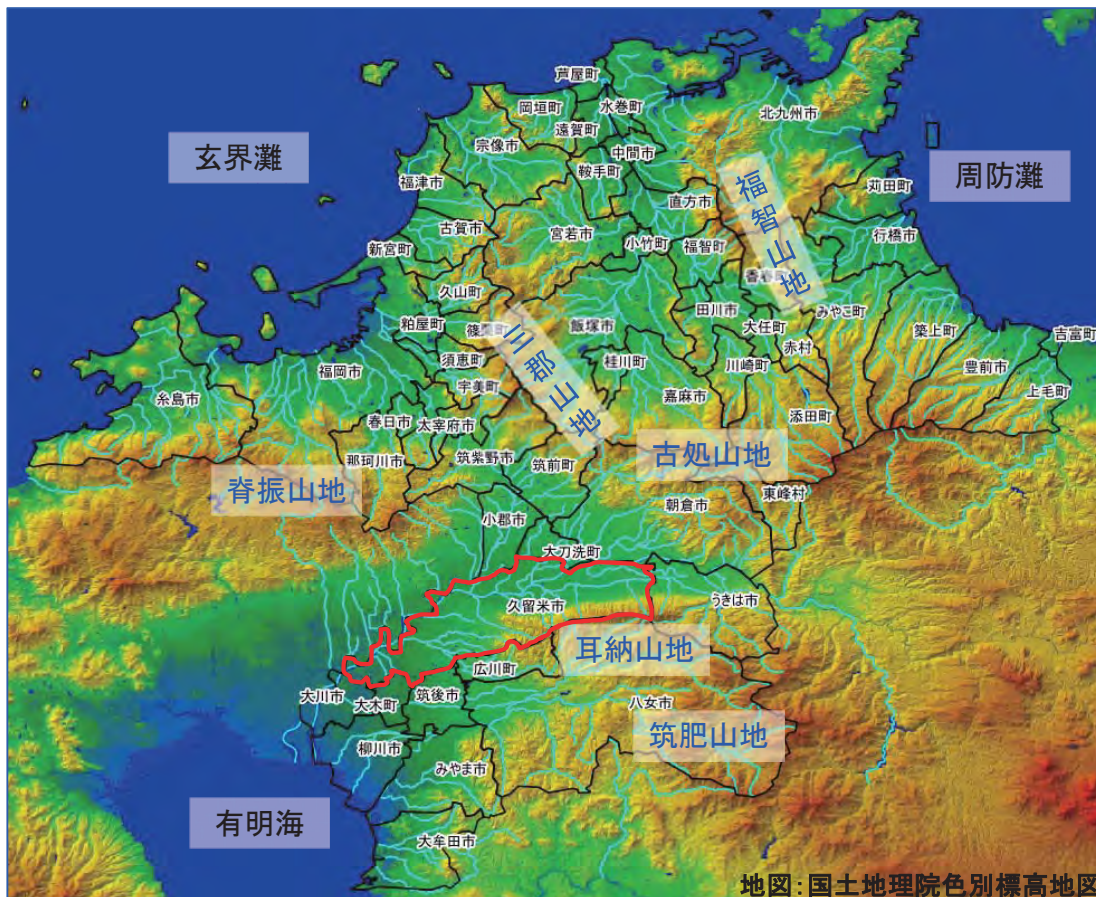
1時間降水量80ミリとは
どんな雨？

『猛烈な雨』

※息苦しくなるような圧迫感がある。
恐怖を感じる。

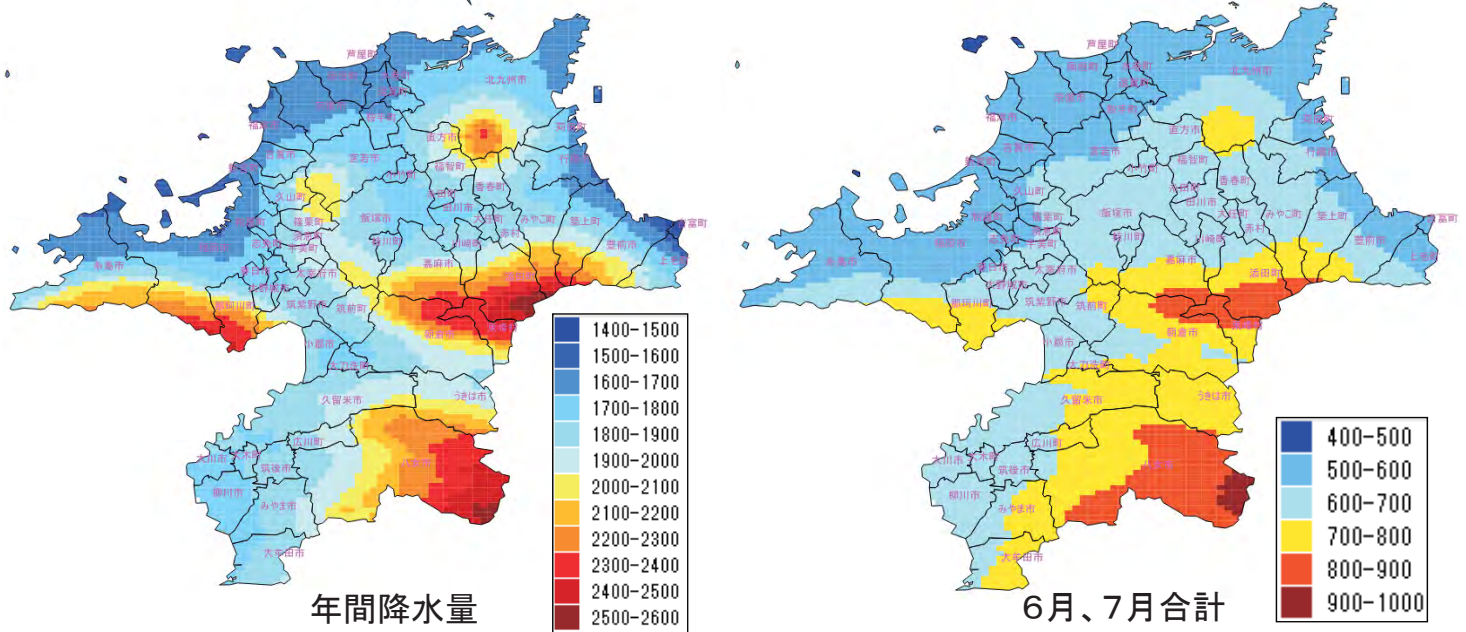


福岡県の地勢



地図：国土地理院色別標高地図

年間降水量と6、7月の降水量



福岡県内の年間降水量は約1500～2500ミリで、6～7月の梅雨期間は、約500～900ミリで年間の3～4割を占める。

5

地域の特徴を知ることが大切

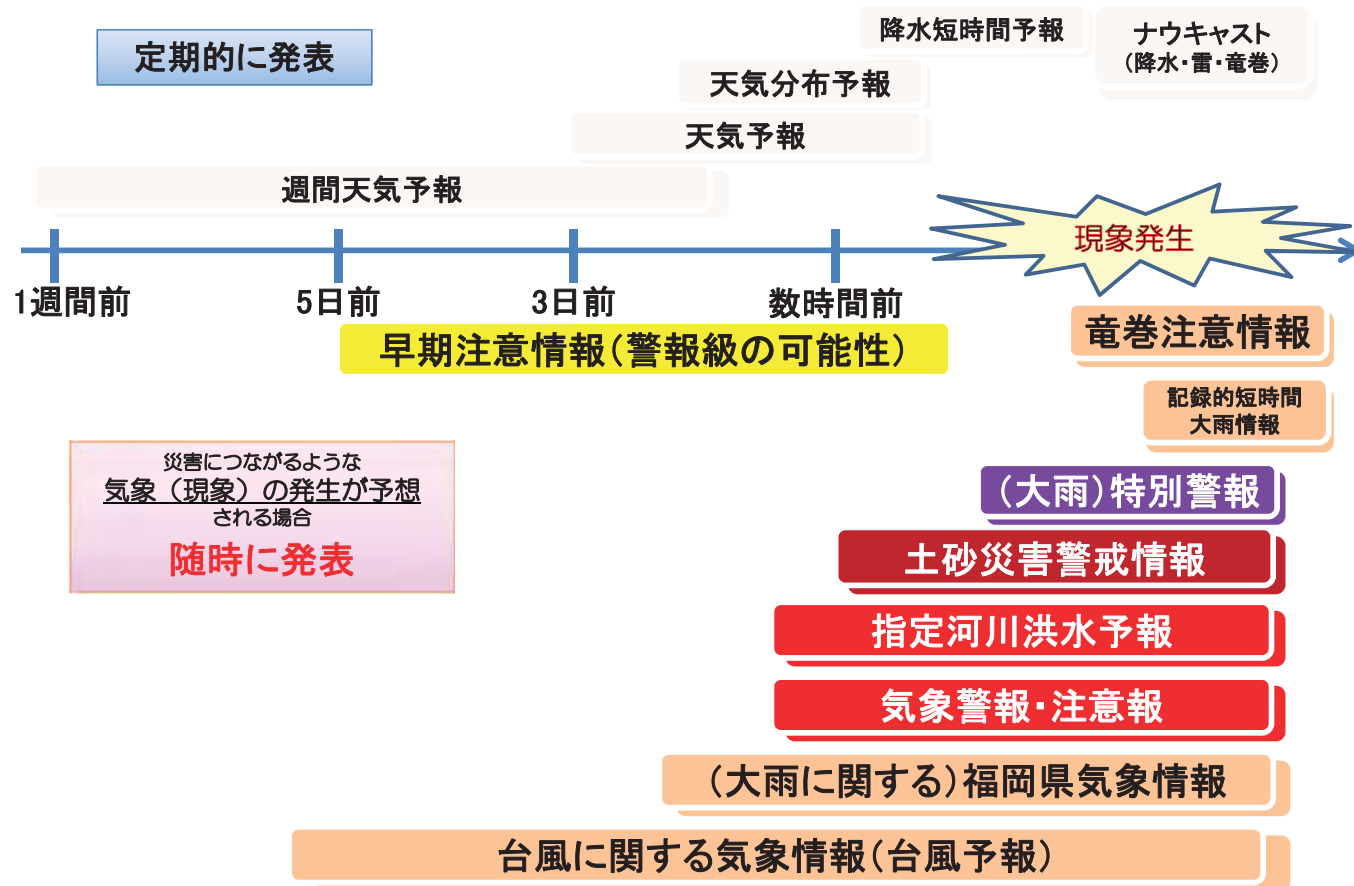
災害には、起こりやすい場所がある

(例)

- 崖や溪流(けいりゅう)の近く → 土砂災害
- 海岸堤防の近く → 高波や高潮
- 川の近くの低い場所 → 川があふれて浸水
- 都市部の地下街 → 大量の雨水で水没

その地域の特徴を知っているのと、知らないのとでは、命を守る行動に大きな差が生じる。時には生死を分けることも。
地域の特徴は、ハザードマップなどで調べることができる。

気象台が発表する主な防災気象情報



防災気象情報に用いる地域名称



- 天気予報や気象情報では、市町村をまとめた地域名称を用いて発表します。
- 自分の居住地や移動先がなんという名称の地域に含まれているか予め確認しておきましょう。

久留米市⇒筑後北部⇒筑後地方

雨・風の強さを表す気象用語

～天気予報・週間天気予報で悪天の兆候をつかむ～



「強い風」 15m/s以上
風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る風

「非常に強い風」 20m/s以上
何かにつかまっていないと立ってられない、飛来物によって負傷するおそれがある風

「猛烈な風」 30m/s以上
屋外の行動は極めて危険な風

※雨が強くなくても、台風の接近等により風で屋外の行動が難しくなる前に早めの安全確保行動が必要

強

「激しい雨」→1時間30ミリ以上
バケツをひっくり返したように降る雨
山崩れ・崖崩れが起きやすくなる
都市では下水管から雨水があふれる

「非常に激しい雨」→1時間50ミリ以上
滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）
雨
都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある
マンホールから水が噴出する
多くの災害が発生する

「猛烈な雨」→1時間80ミリ以上
息苦しくなるような圧迫感がある、恐怖を感じる雨
雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要

強

天気予報番組では、気象台が発表する天気予報や気象情報等を視聴者に解説。キーワードを見逃さない・聞き逃さないことが悪天の予兆を捉えるコツ。

天気予報の解説

福岡管区気象台 ○月○日05時発表

| 筑後地方 | 天気予報 | 降水確率 | |
|------------|--|-------|------|
| 今日(○日) | 南西の風やや強く 晴れ 夕方 から くもり 所により昼過ぎから夜のはじめ頃 雨で雷を伴い激しく降る | 00-06 | — % |
| | | 06-12 | 10 % |
| | | 12-18 | 40 % |
| | | 18-24 | 30 % |
| 明日(●日) | 南の風強く くもり 昼前 から 雨 所により雷を伴い非常に激しく降る | 00-06 | 30 % |
| | | 06-12 | 50 % |
| | | 12-18 | 60 % |
| | | 18-24 | 60 % |

| 時間 | 天気予報等で使用する時間帯の用語 | |
|----|------------------|----|
| 0 | 未明 | |
| 3 | 明け方 | |
| 6 | 朝 | |
| 9 | 昼前 | 日中 |
| 12 | 昼過ぎ | |
| 15 | 夕方 | 夜 |
| 18 | 夜のはじめ頃 | |
| 21 | 夜遅く | |
| 24 | | |

今日○日の天気は

風:南西から吹く風で10m/s～15m/s未満

天気:昼過ぎまでは晴れるが、夕方(15時-18時)から くもって 所によっては昼過ぎ(12時-15時)から夜のはじめ(18時-21時)頃にかけて雷を伴った1時間30mm～50mm未満の雨が降る



段階的に発表する防災気象情報

| 気象状況 | 防災気象情報 | | | | 市町村の対応 | 住民の行動 | 警戒レベル |
|--------------------|--------------------|------------------------------------|------------------|----------------|---------------------------|-----------------------------------|-------|
| 大雨の数日 ～ 約1日前 | 警報級の現象発生の可能性が予想される | 早期注意情報 (警報級の可能性) 天気予報の発表地域ごと | | | ・心構えを一段高める ・職員の連絡体制の確認 | 災害への心構えを高める | 1 |
| 大雨の半日 ～数時間前 | | 大雨・洪水注意報 | 危険度分布 | | 第1次防災体制 | ハザードマップ等で避難行動を確認 | 2 |
| 大雨の数時間～ 2時間程度前 | | 大雨警報に切替える可能性が高い注意報※1 | 高潮注意 | 注意 (注意報級) | 氾濫注意情報 | | 3 |
| | | 大雨・洪水警報 | 警報に切替える可能性の注意報※2 | 警報 (警報級) | 氾濫警戒情報 | (危険箇所の近く)準備が整い次第、避難開始、高齢者等は速やかに避難 | 3 |
| | | 土砂災害警戒情報 | 高潮警報 | 非常に危険 極めて危険 | 氾濫危険情報 | 速やかに避難 | 4 |
| 数十年に一度の大雨 | | 大雨特別警報 | 高潮特別警報 | | 災害発生情報 | 命を守るための最善の行動をとる | 5 |

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切替える可能性が高い注意報は警戒レベル3に相当。
 ※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切替える可能性が高い注意報は警戒レベル4に相当。

警戒レベル1: 早期注意情報

5日先までの「警報級の可能性」

〇〇県南部の警報級の可能性

南部では、4日までの期間内に、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。
また、4日明け方までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。

イメージ

今日～明日

・天気予報と合わせて発表
・時間帯を区切って表示

明後日～5日先

・週間天気予報と合わせて発表
・日単位で表示

| 〇〇県南部 | | 8/3 17:00発表 | | | | | 8/3 17:00発表 | | | |
|-------|---------|-------------|-----|-------|-------|-------|-------------|----|----|----|
| 種別 | 警報級の可能性 | 3日 | | 4日 | | | 5日 | 6日 | 7日 | 8日 |
| | | 明け方まで | | 朝～夜遅く | | | | | | |
| | | 18-24 | 0-6 | 6-12 | 12-18 | 18-24 | | | | |
| 大雨 | 警報級の可能性 | 中 | | - | | | - | - | 中 | - |
| 暴風 | 警報級の可能性 | - | - | 高 | | | - | 中 | 高 | - |
| 波浪 | 警報級の可能性 | - | - | 高 | | | - | 中 | 高 | - |

[高]: 警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。
 [中]: [高]ほど可能性が高くないが、警報を発表するような現象発生可能性がある状況。気象台が発表する今後の情報に留意。

今日～明日

前日の夕方の段階で、必ずしも可能性は高くないものの、夜間～翌日早朝までの間に警報級の大雨となる可能性もあることが分かる！

明後日～5日先

数日先の荒天について可能性を把握することができる！

警戒レベル2:注意報、警戒レベル3相当情報:警報 危険度を色分けした時系列

これまで文章形式で提供してきた「**警報級の現象が予想される期間**」等を、**危険度に応じて色分けした時系列の表形式により視覚的に把握しやすい形で提供。**

| △△市 | | 今後の推移 (■警報級 ■注意報級) | | | | | | | | | 備考・ 関連する現象 | |
|--------------------|-----------------|---------------------------|-------|-------|-----|-----|-----|------|-------|-------|----------------------|---------|
| 発表中の 警報・注意報等の種別 | | 4日 | | | 5日 | | | | | | | |
| | | 15-18 | 18-21 | 21-24 | 0-3 | 3-6 | 6-9 | 9-12 | 12-15 | 15-18 | | |
| 大雨 | 1時間最大雨量 (ミリ) | 10 | 10 | 30 | 30 | 70 | 70 | 50 | 30 | | 浸水注意 土砂災害注意 氾濫 | |
| | (浸水害) | | | | | | | | | | | |
| | (土砂災害) | | | | | | | | | | | |
| 洪水 | (洪水害) | | | | | | | | | | 氾濫 | |
| | 暴風 | 風向 風速 (矢印・ メートル) | 陸上 | 10 | 15 | 20 | 20 | 25 | 25 | 20 | 15 | 12 |
| 海上 | | | 10 | 15 | 25 | 25 | 30 | 30 | 25 | 15 | 15 | 以後も注意報級 |
| 波浪 | 波高(メートル) | 4.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 6.0 | 6.0 | 以後も警報級 うねり | |
| 高潮 | 潮位(メートル) | 0.7 | 0.7 | 1.5 | 2.0 | 2.5 | 3.0 | 2.0 | 1.5 | | ピークは5日6時頃 | |
| 雷 | | | | | | | | | | | 竜巻、ひょう | |

**危険度を色分けした
時系列を確認!**

警戒レベル4相当情報:土砂災害警戒情報

土砂災害の危険度が非常に高まった市町村に対して、福岡県と気象台が共同で発表。危険度が高まっている領域は、気象庁HPの「大雨警報(土砂災害)の危険度分布」やテレビのデータ放送などで確認できます。

福岡県土砂災害警戒情報 第×号
令和元年×月××日 ×時××分
福岡県 福岡管区気象台 共同発表

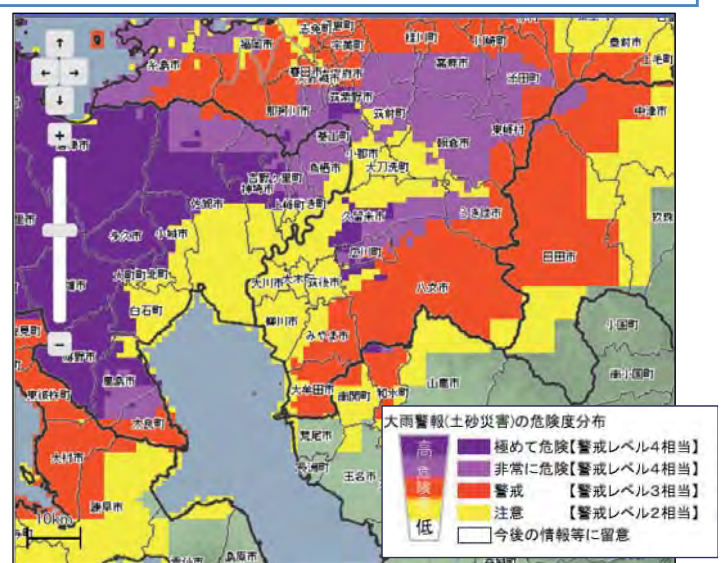
【警戒対象地域】
北九州市 福岡市 久留米市 筑紫野市 宗像市 糸島市 岡垣町 広川町

*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

【警戒文】
<概況>
降水続く大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。
<とるべき措置>
避難が必要となる危険な状況となっています【警戒レベル4相当情報(土砂災害)】。
崖の近くなど土砂災害の発生しやすい地区にお住いの方は、早めの避難を心がけるとともに、市町村から発表される避難勧告等の情報にご注意してください。
<補足情報>
市町村内で危険度が高まっている区域は、福岡県や気象庁のホームページ等でも確認できます。
「福岡県土砂災害危険度情報」、気象庁「大雨警報(土砂災害)の危険度分布」



お問い合わせ先
092-443-5618 (福岡県国土環境部防災課)
092-729-3660 (福岡管区気象台災害対策課)



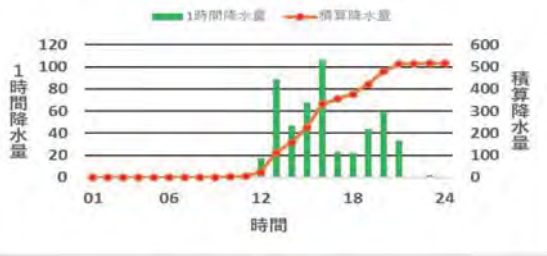
※筑後市は土砂災害警戒区域等がないため、土砂災害警戒情報及び大雨警報(土砂災害)は発表されない。

※土砂災害の危険度分布を確認できるデータ放送:FBS、TNC

どのくらい危険な時か・・・

平成29年7月九州北部豪雨

アメダス朝倉の7月5日の雨量



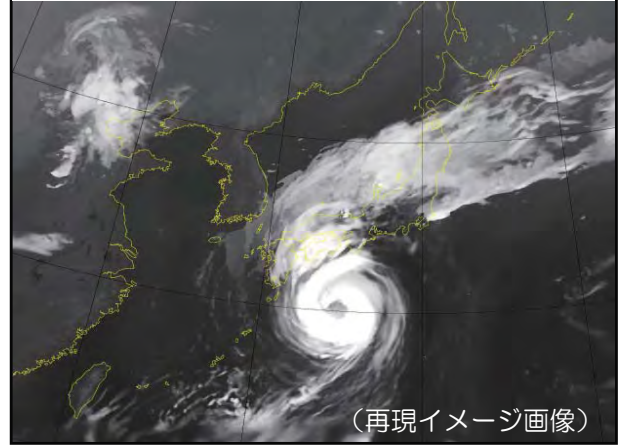
ひと月に匹敵する量の雨が6時間程度で降った。

土砂災害、洪水害などにより、朝倉市、東峰村等で甚大な被害



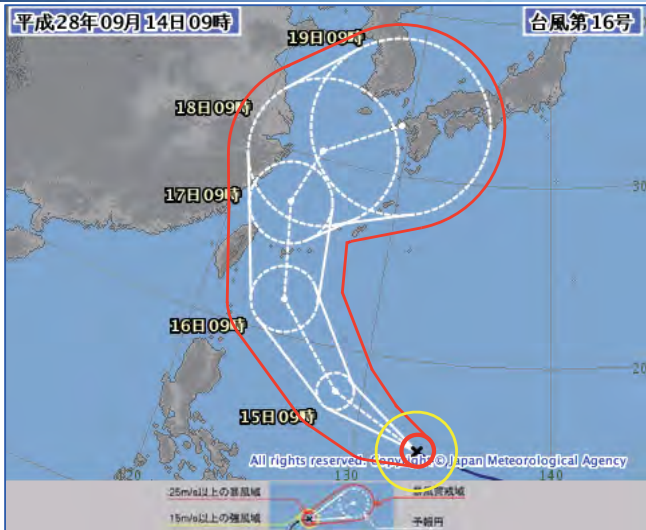
伊勢湾台風（昭和34年）

高潮により観測史上最高潮位を観測。立ってられないくらいの猛烈な風。高潮等により死者・行方不明者5千人を超える被害。

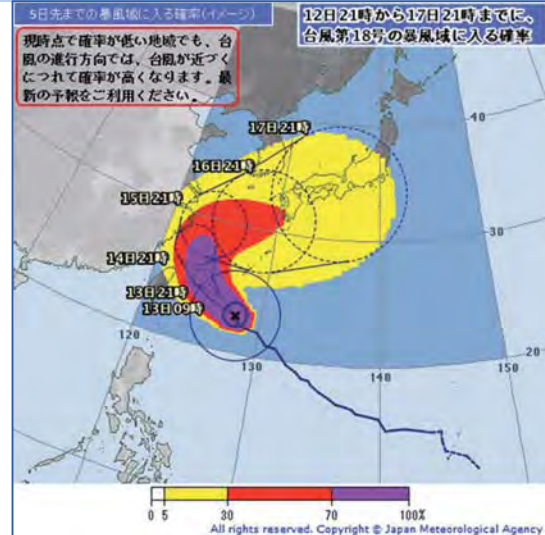


記憶に残る大災害になるような気象です

台風予報



5日先までの進路予報



台風の暴風域に入る確率(分布図)

5日先までの12、24、48、72、96及び120時間後の台風の中心位置と120時間以内に暴風域に入るおそれがある領域の予想を予報円(点線)と暴風警戒域(実線)で示す。

強さの階級分け

| 階級 | 最大風速 |
|-------|--------------------------------|
| 強い | 33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満 |
| 非常に強い | 44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満 |
| 猛烈な | 54m/s(105ノット)以上 |

大きさの階級分け

| 階級 | 風速15m/s以上の半径 |
|-------------|-----------------|
| 大型(大きい) | 500km以上～800km未満 |
| 超大型(非常に大きい) | 800km以上 |

【注意】

台風の「強さ」「大きさ」に雨量の多さは関係しない。また、台風が離れていても大雨になることもある。

- リアルタイムの大雨の危険度と併せ、自分が住んでいる場所の危険性も同時に確認できる。
- 自主的な避難の判断や、市町村のより適切な避難情報の発令に活用。

洪水浸水想定区域を重ね合わせ

ボタンで切替

土砂災害警戒区域(予定箇所を含む)を重ね合わせ

ボタンで切替

遅くとも「うす紫」で避難！

— 平成29年7月九州北部豪雨 —

濃い紫(極めて危険)が出現すると、避難が困難な状況となっているおそれがある。うす紫(非常に危険)が出現した時点で河川の現況を確認し、速やかに避難の判断をすることが重要。避難に時間を要する高齢者等は、赤色(警戒)の段階で、避難の判断をすることが重要。

| 14時30分 【警戒】 | 15時00分 【非常に危険】 | 15時30分 【極めて危険】 |
|-------------|----------------|----------------|
| | | |
| | | |

画像：日田市職員提供(平成29年7月5日)

危険度分布の色が示す意味

| 危険分布の色 | 相当する警戒レベル | | 意味 | 住民の行動の例 |
|--------|------------|------|---------------------------------|---|
| | 大雨警報(土砂災害) | 洪水警報 | | |
| 濃い紫 | 4相当 | — | 極めて危険 警報基準を大きく超過した基準にすでに到達 | 命に危険が及ぶような土砂災害や洪水害がすでに発生していてもおかしくない。この状況になる前に、少しでも安全な場所への避難を完了しておく。 |
| 薄い紫 | | 4相当 | 非常に危険 警報基準を大きく超過した基準に到達すると予測 | 命に危険が及ぶような土砂災害や洪水害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。速やかに安全な場所への避難を開始する。 |
| 赤 | 3相当 | 3相当 | 警戒 警報基準に到達すると予測 | 避難の準備が整い次第、少しでも安全な場所への避難を開始。高齢者等は速やかに避難を開始する。 |
| 黄 | 2相当 | 2相当 | 注意 注意報基準に到達すると予測 | 最新の情報を把握して、災害に備えた早めの準備 |
| | — | — | 今後の情報等に留意 | 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意 |

19

自分のいる場所の「危険度分布」をワンタッチで表示

大雨・洪水警報の危険度分布

災害から我が子の命を守るために

身にせまる災害を一目で確認

自ら情報を得ることが大切なひとを守る第一歩
せまる危険に気付けるのはほかでもないあなたです
気象予報士/井田寛子

この雨大丈夫? そんな時は
気象庁ホームページで検索
危険度分布 検索

①気象庁ホームページのバナーをタップ

この雨大丈夫? そんな時
危険度分布

②自分のいる場所の危険度が表示



福岡県の洪水警報危険度分布 QRコード

- ▶ 通知サービスでは、ユーザーが登録した地域の危険度が上昇したとき等に、スマートフォンのアプリやメール等でプッシュでお知らせ。
- ▶ 土砂災害や洪水災害等から避難が必要な状況となっていることにすぐに気付くことができるようになり、自主的な避難の判断に活用していただくことが期待される。



協力事業者紹介

| | |
|--|---|
| アルシーソリューション株式会社 <small>「防災コントロール」が新しい防災アプリ生まれ変わります！ ※秋リリース予定</small> | GEHIRN <small>通知の届くことができる新なる防災アプリを提供します！ 2019年8月1日リリース！！</small> |
| SHIMADZU Excellence in Science <small>お天気JAPANアプリで通知をお届けします！ 2019年8月1日リリース！！</small> | 日本気象株式会社 Earth Communication Provider <small>お天気JAPANアプリでメール通知をお届けします！ 2019年7月10日リリース！！</small> |
| YAHOO! JAPAN <small>Yahoo! JAPANアプリで通知をお届けします！ 2019年7月10日リリース！！</small> | |

テレビのデータ放送で土砂災害危険度情報を確認

パソコン等の使用環境がなかったり、高齢者等、使用に不慣れな方でも手軽に操作できる、テレビのデータ放送で「土砂災害危険度情報」を配信。

リモコンで操作できるから簡単！



【画面のイメージ】



※放送事業者
FBS福岡放送
TNCテレビ西日本

避難行動とは

- 避難勧告等の対象とする避難行動については、**命を守るためにとる、①から③の全ての行動を避難行動**とする。
 - 居住者・施設管理者等は、ハザードマップ等を基に、避難勧告等が発令された時の**避難行動をあらかじめ考えておく必要がある**。なお、親戚や友人の家等の**自主的な避難場所**へと立退き避難する場合には、それらの安全性を各災害のハザードマップ等であらかじめ確認しておくとともに、その場所までの移動時間を考慮して**自ら避難行動開始のタイミングを考えておく**。
- ① 指定緊急避難場所への立退き避難
 - ② 「**近隣の安全な場所**」(近隣のより安全な場所・建物等)への立退き避難
 - ③ 「**屋内安全確保**」(その時点で居る建物内において、より安全な部屋等への移動)

「避難勧告等に関するガイドライン①」(平成31年3月 内閣府)p14より(抜粋)

警戒レベル4の避難勧告又は避難指示(緊急)は、指定緊急避難場所への立退き避難を基本とするものの、**立退き避難がかえって危険と思われる場合には、近隣の安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難するよう示しており、住民が、自ら適切な避難行動を判断することが求められている**。

「避難勧告等に関するガイドライン」に係るQ&A及び警戒レベルの運用にあたっての注意事項等について」(令和元年5月24日 内閣府・消防庁発事務連絡)より(抜粋)

最後に

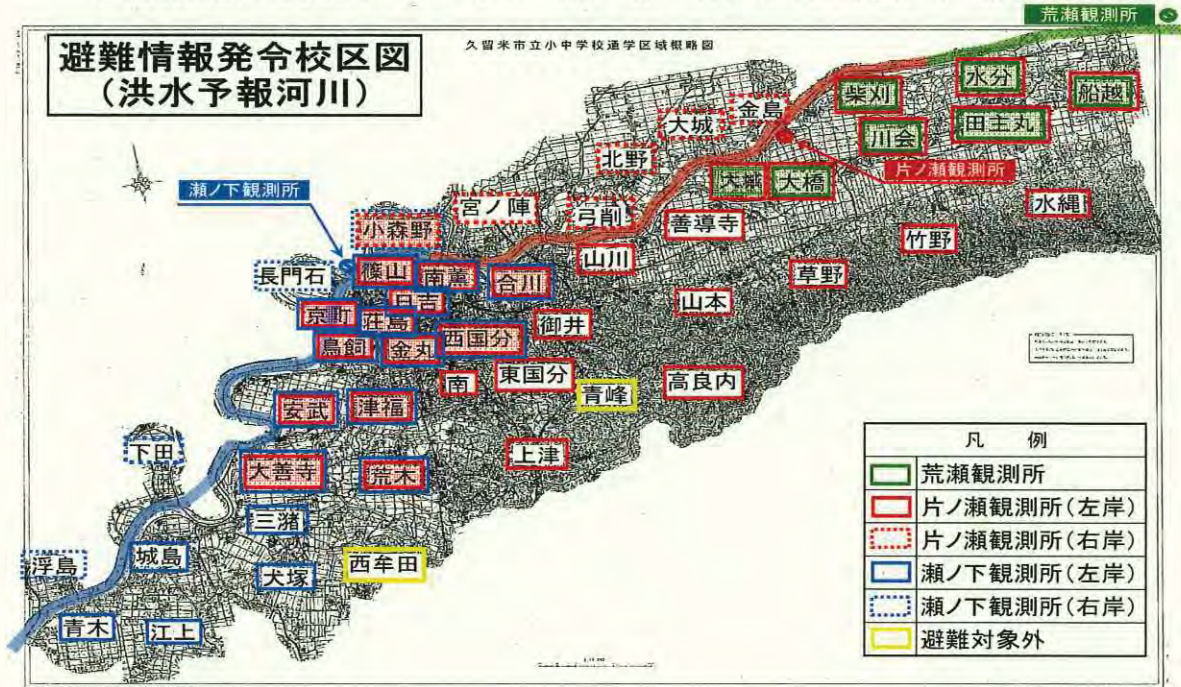
- 災害には、**起きやすい場所がある**。
- 住んでいる場所が**どんな災害に弱いのか**、普段から調べておくことが大切。
- ご近所などとのコミュニケーションも大切。
- 自ら情報を入手して**早め早めの対応を** → 避難場所や近所へ避難！
- 「大丈夫！」ではなく、「**もしかしたら・・・**」の心構えが大切。
- 市町村が出す避難情報で避難し被害がなかった場合でも「**被害がなくて良かった**」との考え方が大切。

“被災地”  “未災地” まだ起こっていないだけ

自然には謙虚に！

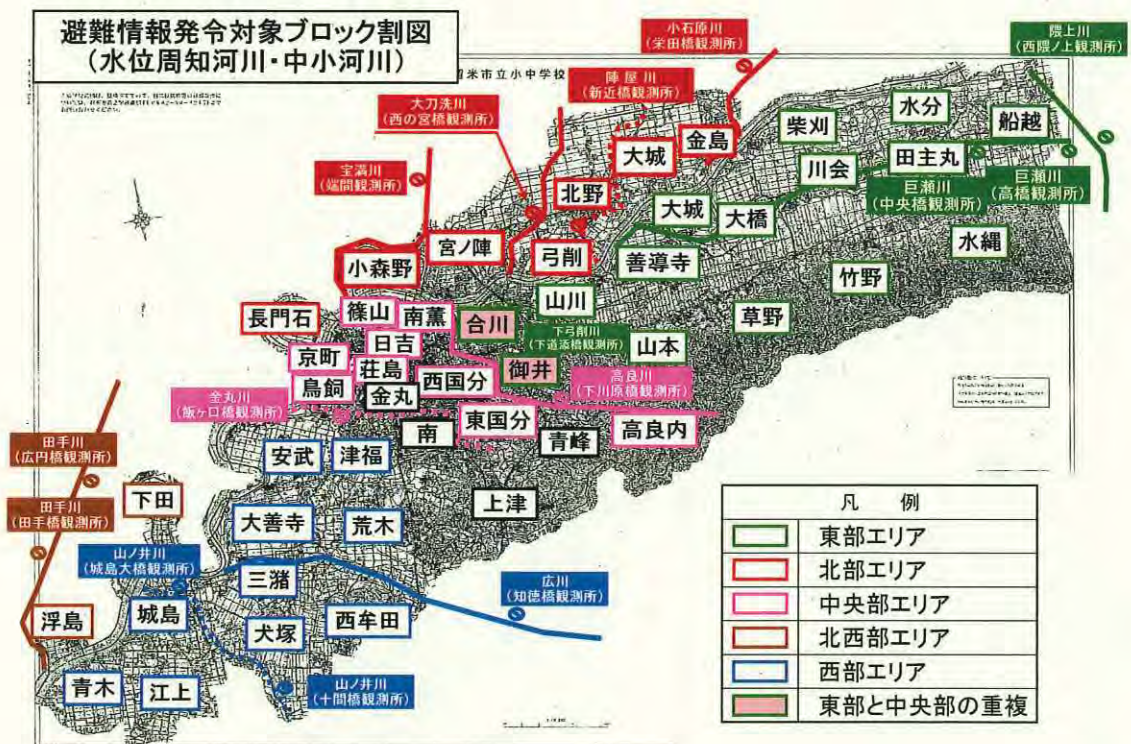
●洪水予報河川の避難情報発令対象エリア図

・水位観測所が受け持つ3エリア（緑・赤・青）ごとに発令（一部重複）



●水位周知河川及び中小河川の避難情報発令対象エリア図

・各河川の浸水想定図をグルーピングした5エリア（緑・赤・桃・青・茶）ごとに発令（一部重複）



筑後川避難判断マップ

篠山校区

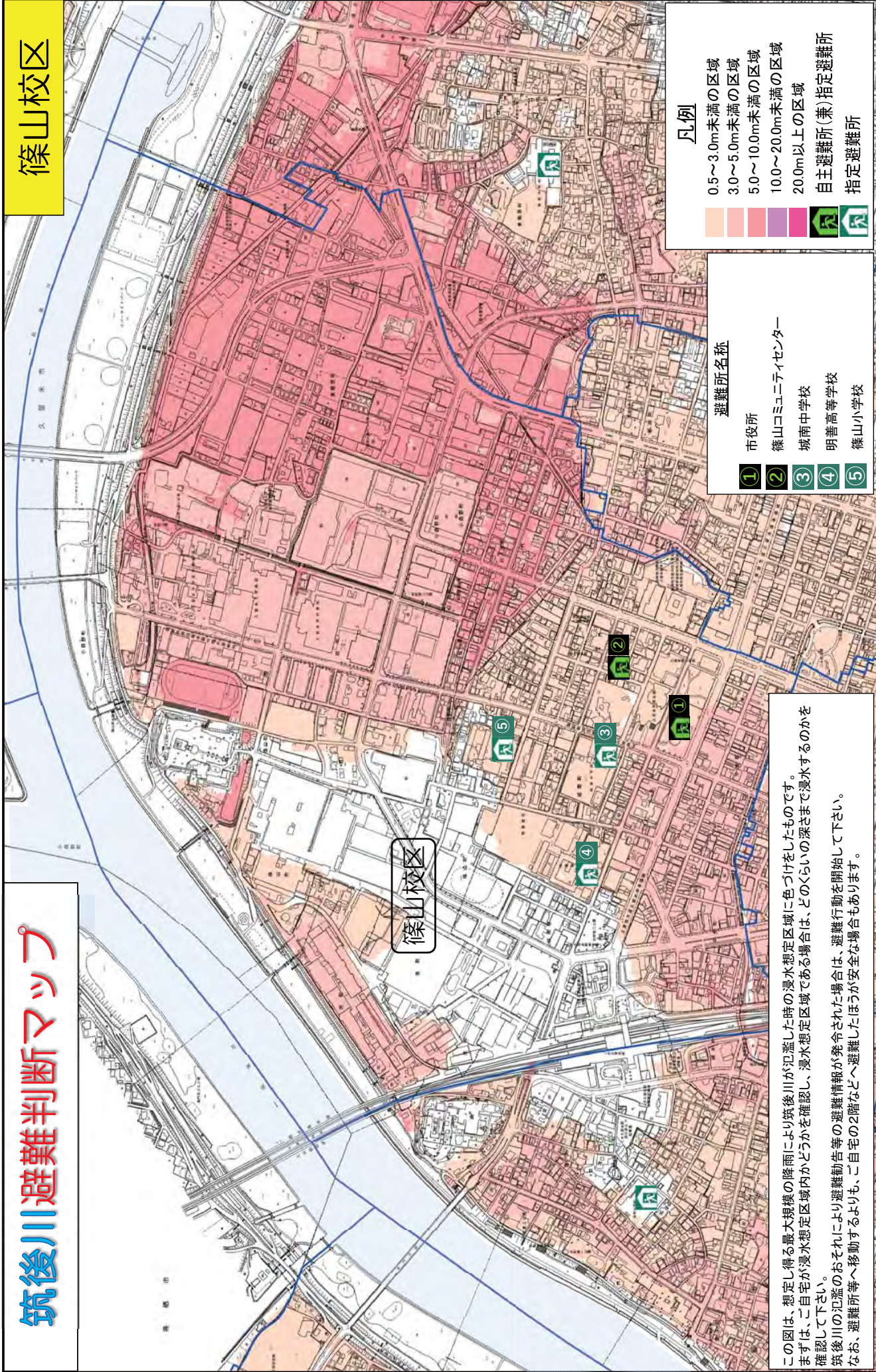
篠山校区

凡例

- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0～10.0m未満の区域
- 10.0～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 自主避難所(兼)指定避難所
- 指定避難所

避難所名

- ① 市役所
- ② 篠山コミュニティセンター
- ③ 城南中学校
- ④ 明善高等学校
- ⑤ 篠山小学校



この図は、想定し得る最大規模の降雨により筑後川が氾濫した時の浸水想定区域に色づけをしたものです。まずは、ご自宅が浸水想定区域内かどうかを確認し、浸水想定区域である場合は、どのくらいの深さまで浸水するのかを確認して下さい。
 筑後川の氾濫のおそれにより避難勧告等の避難情報が発令された場合は、避難行動を開始して下さい。なお、避難所等へ移動するよりも、ご自宅の2階などへ避難したほうが安全な場合もあります。

避難行動要支援者名簿と 個別支援の具体化の取組について

～あなたのそばに、災害の際に心配な方はいませんか？～



久留米市健康福祉部 地域福祉課

第一部

災害時の避難行動要支援者支援

～最初に動画を御覧ください～

「あの母子を何とかして
助けることはできなかったのか」

「久留米でも起きうるのではないか」

～自分たちはその時、どうしたら
あの親子を救うことができるのか～

第二部

避難行動要支援者名簿 の取り組みについて

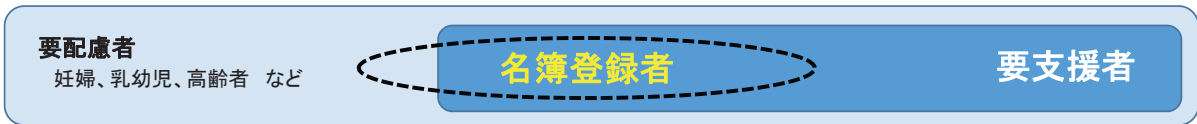
ひなんこうどうようし えんしゃ 避難行動要支援者とは？

- ◆ 在宅生活を送っている方で
- ◆ 災害時に、自力での避難又はご家族の協力があっても避難が困難

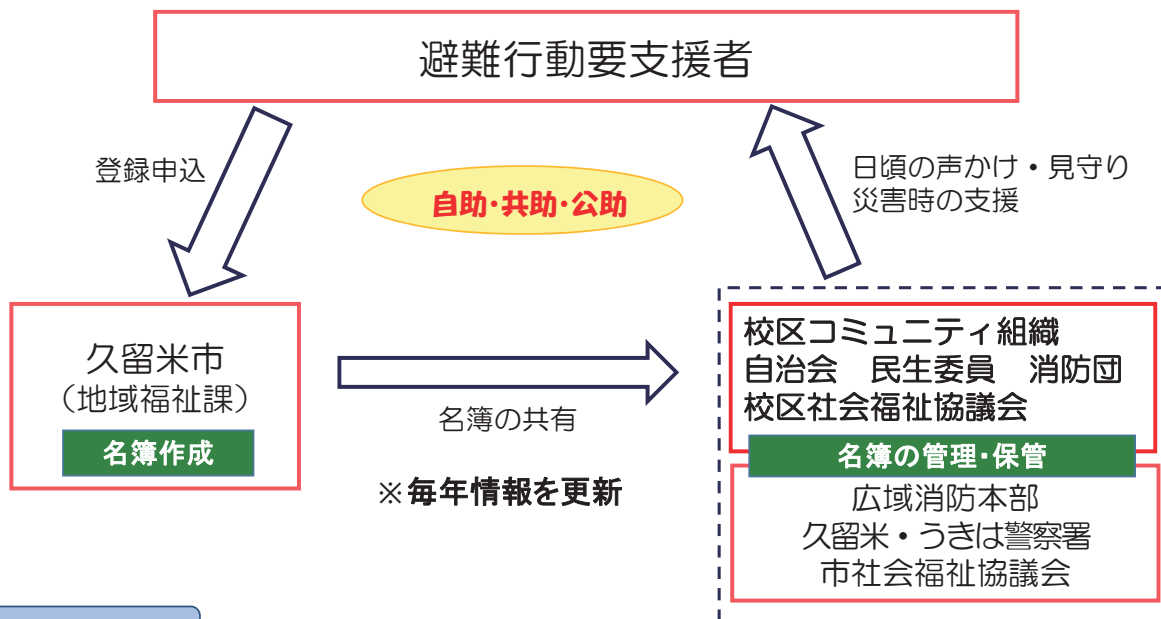
→ 避難するためにはご近所の方の支援が必要！

具体的には 在宅生活を送っている方で、

- ① 要介護3、4、5
- ② 身体障害者手帳1、2級
- ③ 療育手帳 A
- ④ 精神障害者保健福祉手帳1級
- ⑤ 要配慮者のうち、情報の提供に同意する者



避難行動要支援者名簿とは（仕組み）



しくみ

- ◆ 避難に支援を必要とする人が名簿に登録
- ◆ 登録された情報を、行政と地域等で日ごろから共有
- ◆ 日頃の声かけ、避難情報の伝達、安否確認などに役立てる

なぜこういった名簿が必要なのでしょう？

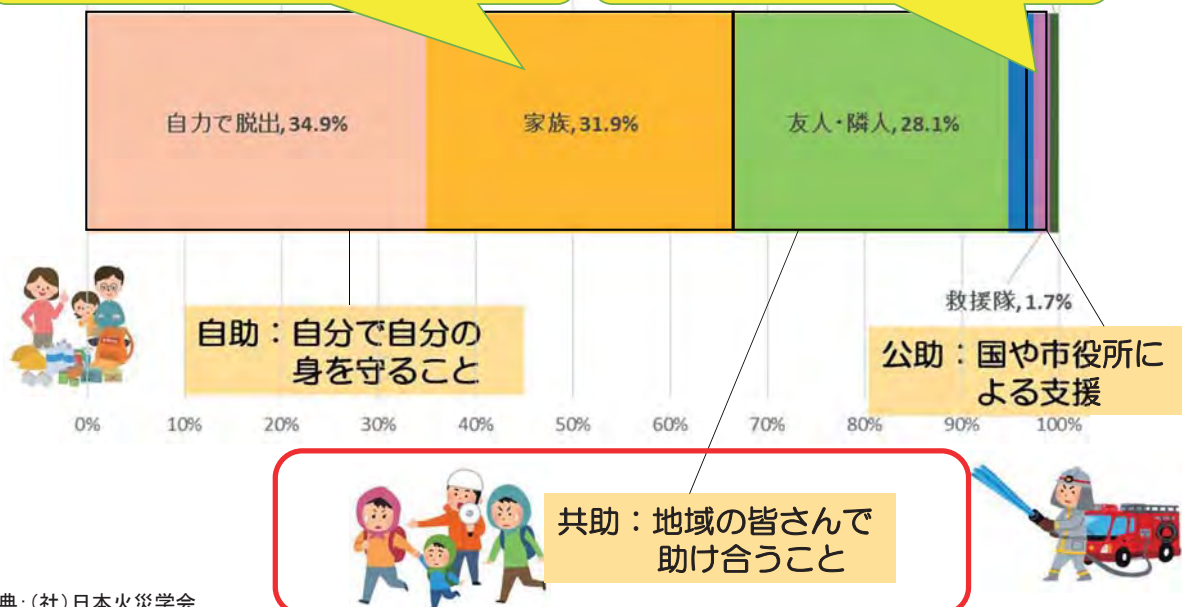
大規模災害発生時の人命救助

(阪神淡路大震災の事例)

大震災で閉じ込められた人：約164,000人

災害の基本は自助！
でも自分たちでは避難が困難な人達があります

大規模な災害になればなるほど公助による支援は遅れ、届きにくくなります



出典：(社)日本火災学会

名簿の取り組みの経緯

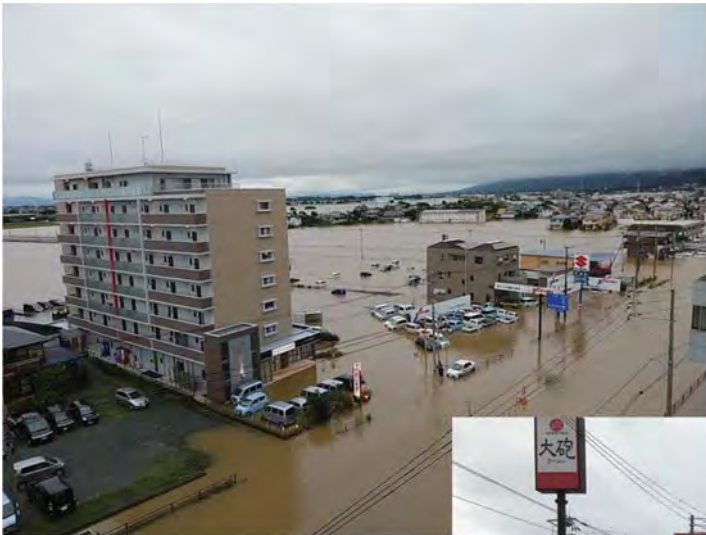
- 平成22年度～ 市 災害時要援護者支援プランを作成
災害時要援護者名簿の取り組みを
各校区で順次開始。

平成23年 東日本大震災

- 平成25年6月 国 災害対策基本法改正(名簿作成義務化)
- 平成25年11月 市 市内全46校区で名簿作成・共有
- 平成25年～ 市 市内各校区で図上訓練等により
個別支援計画の充実を促進

平成28年 熊本地震 平成29年度九州北部豪雨 平成30年西日本豪雨など

- 平成31年2月 市 名簿制度の見直し
(名簿の名称、登録対象者、共有先を変更)



← 平成30年7月7日
朝6時頃
東出張所東側

平成30年7月7日 →
朝7時頃
210号線バイパス





←
令和元年7月21日
豪雨
久留米アリーナ前
交差点



→
令和元年7月21日
豪雨
久留米警察署前

そのとき、久留米市では・・・ (平成30年7月 西日本豪雨)

◆土砂災害特別警戒区域在住の避難行動要支援者の避難状況(調査対象:61名)

| | | |
|------------|----------------|-----------|
| 避難した 7人 | 避難しなかった 49人 | 未調査 5人 |
|------------|----------------|-----------|

◆避難した7人のコメント

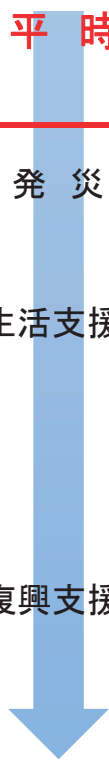
- ・テレビで「避難勧告が出た」等は把握できていたが、消防団の情報伝達(消防車でまわりながらアナウンス)があった時に、近所の友達に電話して、「一緒に避難所に行こう」という話になった。
- ・雨が降る前に、娘の迎えで市内の娘宅に行っていたので、そのまま娘宅で過ごした。
- ・県外の娘宅から娘の送りで帰ってきたばかりだったが、そのまま娘がいてくれた。大雨の翌朝、民生委員や近隣の人に「避難所に行く」と連絡を入れて、避難所に行った。
- ・ケアマネから情報提供があり、避難した。
- ・近隣の人から情報提供があり、危険を感じたので避難した。

テレビ、ラジオなどの情報よりも、顔見知りの方からの情報提供で
避難行動を取る傾向があるのでは・・・？

名簿の取り組みがめざすもの

平時 —1 避難行動要支援者名簿 登録制度
図上訓練・個別支援計画作成

⇒地域づくり

- 
- 発災
- 0 避難行動を支援する
 - 1 孤立状態解消を支援する
- 生活支援
- 2 避難生活を支援する
 - ・在宅避難を支援する
 - ・施設避難を支援する(福祉施設、学校、旅館・ホテル)
 - ・収容避難所避難を支援する(指定避難所、福祉スペース、福祉避難所)
 - 3 帰宅困難に対応する
 - 4 広域避難に対応する
- 復興支援
- 5 仮住まい生活を支援する
 - ・仮設住宅での生活を支援する
 - ・借り上げ仮設住宅での生活を支援する
 - ・自身で契約している仮住まいでの生活を支援する

よくある質問（支援する側）

名簿には個人情報がいっぱいだけど、情報共有して良いの？

◆ この名簿は個人情報ではありますが、登録者全員から日頃のみまもりや災害時の支援のために地域の支援者に情報を共有することについて同意を得られた方について、情報を共有しておりますので、支援を目的とした本日の訓練などでの活用は問題ありません。

（注意点）

- ◆ 名簿の複写はできません（回収できなくなるため）
- ◆ 名簿の目的外利用はできません
- ◆ 全く支援と関係の無い地区の方に情報共有はできません

よくある質問（支援される側）

登録したら必ず助けてもらえるのですか？

- ◆ 災害時は、地域の方や家族も同時に被災する
 - ・・・ 確実な支援や安全を保障するものではない。
- ◆ 地域の助け合い・支え合いによってなりたっている
 - ・・・ 地域の方が義務や責任を負うものではない。

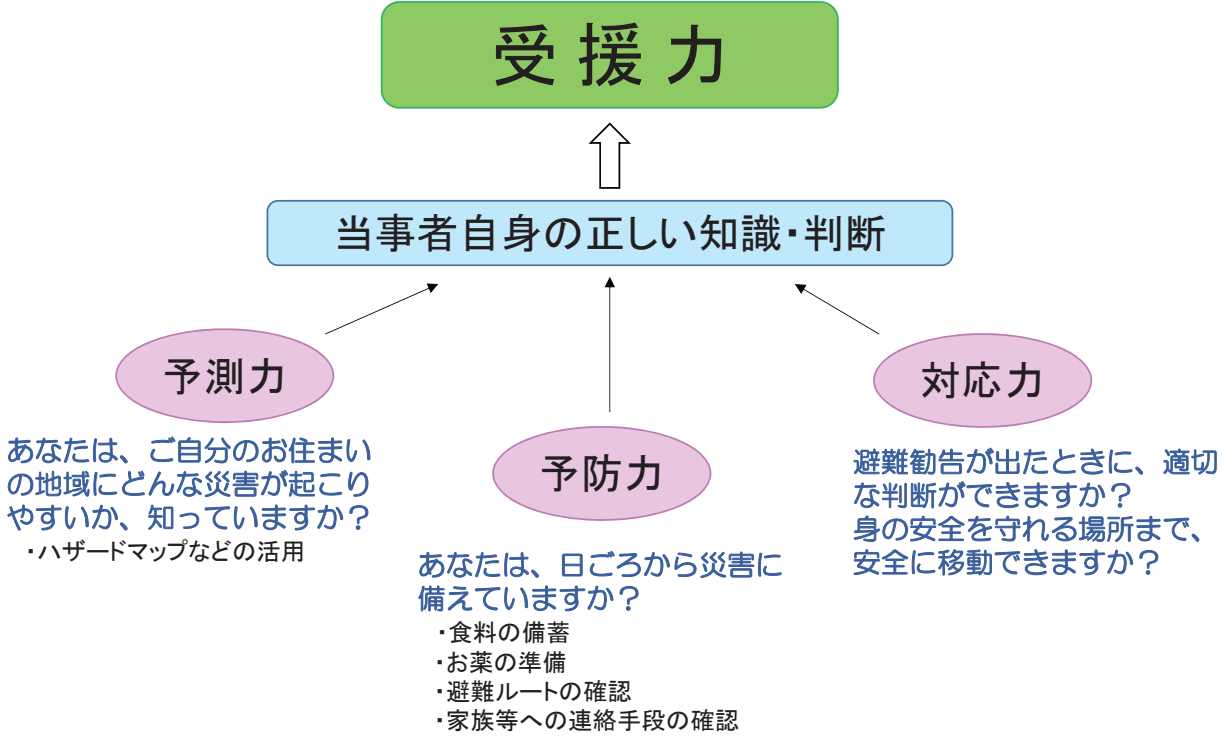


◆ 要支援者本人・家族の自助努力が必要

- 避難場所と移動手段の確認
- 食料等の備蓄
- 日頃からご近所さんと声をかけあうなど
- 日頃から災害への備えを！！**



避難行動支援のキーワード ～防災リテラシー～



名簿登録 随時受付中！

チラシや登録申込書はどこにありますか

地域福祉課や各校区コミュニティセンターに準備しています。
チラシ等の個別郵送を希望される場合は、地域福祉課までご連絡ください。

登録申込書はどうやって提出したらいいですか

いくつか提出方法があります。

- ◎各校区コミュニティセンター経由での提出
- ◎各総合支所市民福祉課経由での提出
- ◎地域福祉課に直接郵送

ご提出の翌月に、登録通知書にて登録が完了したことをお伝えしています。



久留米市地域福祉課 Tel : 0942 - 30 - 9174

第三部

個別支援計画の具体化のために

- ①名簿を活用した図上訓練
- ②災害時ケアプランの試行

名簿を活用した図上訓練とは？

名簿はつくってみたものの・・・

それだけでは支援につながりません

訓練では支援者のみなさんに集まっていただき
下記の項目を一緒に考えていきます。

- ① 地域の避難行動要支援者の把握、
情報共有
- ② 地域の危険箇所・避難場所
・避難ルートの確認
- ③ 地域の支援体制の確認
具体化に向けた検討

訓練風景



マップの完成イメージ



災害時ケアプラン（試行中です）

- 避難行動要支援者一人ひとりの個別支援計画策定
- (御井校区でのモデル実施から)
- 自宅から指定避難所まで距離があるが移動手段が無いため、避難が困難で災害時に心配な高齢者のみ世帯のご夫婦がいると地域の方からの相談を受け、当事者、地域の避難支援等関係者と行政、専門機関等が連携して避難行動要支援者の個別支援計画（災害時ケアプラン(仮称)）策定に取り組みました。

◆参加者

- ☆避難行動要支援者ご本人
- (ご本人とその夫の高齢者のみの世帯)
- 市(地域福祉課)、市社会福祉協議会
- 自治会、民生委員・児童委員、
- ふれあいの会、ケアマネジャー



◆内容

- ①自分たちの住んでいる地区の災害の特性を確認
(土砂・浸水被害の危険のある地区か?)
- ②自身の身体の状態や生活状況を確認し、支援者と情報を共有
(日常生活で介助が必要な場面やサービス利用状況など)
- ③自分たちには災害に備えてどんな備えが必要なのかを確認
(持ち出し品の確認、移動手段の確保、緊急時の連絡手段の確認など)
- ④地域の方たちをお願いしたい支援について具体化

避難する時に、家族だけでは移動が大変。地域の方に手伝ってもらえないかな？



指定避難所までは遠いから、もっと近くにある隣の自治会の公民館などに避難させてもらえないか、隣の自治会長さんに相談してみよう！

- ⑤地域、専門機関、行政みんなで支援できることについてご本人たちを交えて意見を出し合い、支援につなげていきました。

今後とも

- ・名簿の登録促進
- ・個別支援計画策定
- ・本人への自助の働きかけに
ご協力よろしくお願いいたします

久留米市健康福祉部地域福祉課
TEL：0942-30-9174



「防災」と「福祉」の連携による高齢者の避難行動に 対する理解促進のための研修会 アンケート

1. 研修に参加した理由について教えてください。

【複数回答】該当する回答全てに丸をつけてください。

- ①防災について興味があったから。
- ②自分の受け持つ高齢者の方（利用者）の避難について悩みがあったから。
- ③久留米市や事業所等から参加するよう案内があったから。
- ④その他()

2. 研修を受けて理解が深まったと感じた点について教えてください。

【複数回答】該当する回答全てに丸をつけてください。

- ①防災気象情報の種類・内容について
- ②防災気象情報の入手方法について
- ③警戒レベルについて
- ④危険度分布について
- ⑤行政の役割
- ⑥避難行動要支援者名簿に関する市の取組み
- ⑦ハザードマップの見方について
- ⑧地域や自宅の災害リスクについて
- ⑨避難するタイミングについて
- ⑩高齢者の避難について
- ⑪その他()

3. 研修の中で理解できなかった点について教えてください。

【複数回答】該当する回答全てに丸をつけてください。

- ①防災気象情報の種類・内容について
- ②防災気象情報の入手方法について
- ③警戒レベルについて
- ④危険度分布について
- ⑤行政の役割等
- ⑥避難行動要支援者名簿に関する市の取組み
- ⑦ハザードマップの見方について
- ⑧地域や自宅の災害リスクについて
- ⑨避難するタイミングについて
- ⑩高齢者の避難について
- ⑪その他()

4. 研修内容に対する意見・要望について教えてください。

【自由記述】

例) 防災気象情報についてもっと詳しく知りたかった。

地域の水害リスクについてもっと詳しく知りたかった。 など

5. 研修の運営に関する感想を教えてください。

(1) 本研修の構成や内容について満足いただけましたか。

【単回答】該当する回答ひとつに丸をつけてください。

- ①満足
- ②やや満足
- ③どちらともいえない
- ④やや不満
- ⑤不満

【自由記述】

回答した理由を教えてください。

(2) 時間配分について満足いただけましたか。

【単回答】該当する回答ひとつに丸をつけてください。

- ①満足
- ②やや満足
- ③どちらともいえない
- ④やや不満
- ⑤不満

【自由記述】

回答した理由を教えてください。

6. 現在の取組について教えてください。

(1) 災害に備えて利用者向けに取り組んでいることがあれば教えてください。

【自由記述】

(2) (1) で回答いただいた取組に関して工夫した点及び取組を推進する上で課題となった点を教えてください。

【自由記述】

